



わが国の女子教育の伝統を守り、 21世紀にいきいきと輝く女性を育成します。

女子高等教育に関する豊富な経験をもとに、
自主的、積極的に行動できる女性を社会に多数輩出し続けています。



長い歴史の中で 培われた女子高等教育が 新しい時代に向けて さらなる飛躍を

明治初期、日本ではまだ女子への教育が重視されていなかった時代に、本学はスタートしました。その後の女子高等教育の伝統を受け継ぎ青山学院女子短期大学として1950年の再出発後も、伝統と実績により社会で活躍する多くの卒業生を輩出し、わが国の女子短期大学の中で、つねにシンボリック的存在として、その使命を果たしてきました。

21世紀の今も「キリスト教信仰にもとづく教育」〈女子高等教育〉〈教養教育〉〈都市型カレッジ〉という4つの特色を誇る高等教育機関として、理想的な教育の在り方を追求しています。



国文学科

〈世界のなかの日本〉を
知るためのカリキュラム
〈世界のなかの日本〉という視点から日本語と日本文学に取り組むことを目指しています。日本語学の分野、日本文学の分野、創作の分野、隣接する分野の4系列を設置。先に掲げた目標を達成するため、カリキュラムや指導に努力と工夫を重ねています。専門科目では選択科目を多く設けて、学生個人の幅広い興味と関心の喚起を図り、必修はできるだけ少なくし、学生各自の自主的な研究態度の確立を促す教育を展開しています。

英文学科

世界とコミュニケーションできる
人材を育成
「英語の青山」として、英語教育に高い定評を得てきた青山学院。その伝統と実績を基に英語運用能力の向上に加えて、広く世界の文化を理解できる教養を身につけた人間を育成。本学科には英文学専攻と英語学専攻の2専攻を設置しています。なお、英語教育プログラムの中の「外国人教員による英語のコーディネート授業」は、文部科学省によって2003年度の「特色ある優れた教育」として認められ、「教育拠点校」に選定されました。

家政学科

快適で豊かな生活を
地球規模の視点で追究
学生各自の視点で生活を学び、生活者としての新たな価値観と知識を身につけ実践していく能力を高めていくことを教育目標としています。専門科目は〈生活と社会システム〉〈生活と環境〉〈生活と文化〉という3つの系に区分されますが、各人が系にとらわれず、学びたい科目を自由に選択することができます。また、生活を総合的に考える4科目を必修とし、研究テーマが狭い視点にとどまることのないよう配慮しています。

教養学科

21世紀に生きる地球人としての
幅広い教養を
幅広く学ぶことを通して、広い視野と優れた判断力を育成することを目標としています。単なる物知りや、飾りとしての「教養」ではなく、21世紀に生きる地球人として、生きがいを感じつつ生き、批判的かつ建設的にもの考え、有能な人となって働くための基礎、それがこれからの「教養」です。本学科では、幅広く教養を身につけることができるよう、それぞれの興味に合わせて科目を選択できるようにしています。科目群は〈思想と文化〉〈社会と人間形成〉〈科学と生活環境〉の3分野で構成され、どの分野にも多彩な科目を用意しています。

芸術学科

人間理解を根拠にした
芸術へのアプローチ
青山学院の建学の精神であるキリスト教による人間理解を根拠に、芸術創造の行為を通して人間を探究し、また人間性を深めながら芸術を学びます。カリキュラムの特色は、少人数教育とともに、1年間共通に総合的な基礎を学んだ後、2年次で自由に専攻を選べる点にあります。専攻分野は、制作系の絵画・デザイン・織、および論文系のコースに分かれています。2年次の終わりには各々の成果を制作あるいは論文という形で、卒業展として発表する場を設けています。

子ども学科

「子ども」を
キーワードに新たな展開
「子ども」をキーワードに、社会と人間の関係性から子どもの全体像を探究する多彩なカリキュラムを編成。学科の核となる考え方を学ぶコア科目群に加え、〈教育と保育〉〈こころから〉〈福祉とケア〉〈芸術と文化〉の4領域から構成される専門科目群、また少人数によるゼ

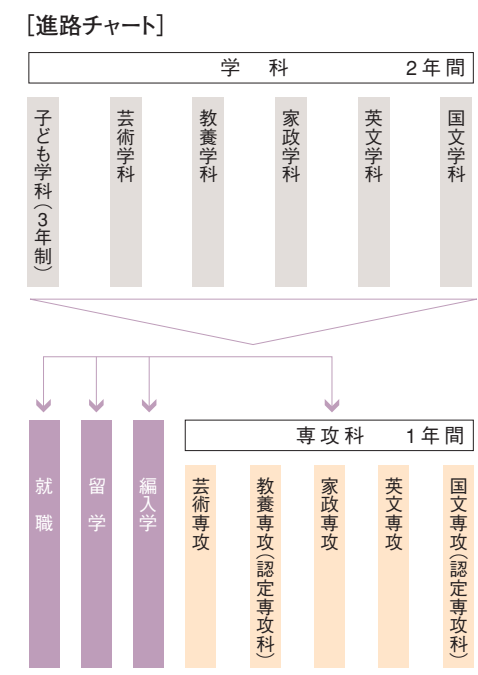
卒業後の進路

●専攻科
本学卒業後、それぞれの専攻分野についてさらに深い研究を1年間行う場として、国文学科、英文学科、家政学科、教養学科、芸術学科に専攻科を設けています。国文専攻および教養専攻は大学評価・学位授与機構から認定された専攻科(認定専攻科)です。

●4年制大学編入学
本学卒業後、より広く、深く学問に挑戦したいと考える学生に対しては、青山学院大学2年次または3年次へ編入学する道が開かれています。また、編入学制度を持つ国内外の4年制大学へ進む卒業生も数多くいます。4月には希望者に対し編入学ガイダンス、6月には卒業生による「編入学説明会」を行っています。

●就職
昨今の急激な景気の後退により、本学への求人数も昨年度を下回るなど厳しい就職環境となっています。このような状況の中で本学の就職希望者の内定率は2009年3月末で97.7%です。こうした好結果は、学生が厳しい現状を認識し積極的に就職活動を展開した成果、そしてこれまでの卒業生の実績が、本学と各企業との間に深い信頼関係を築いてきたからにはかなりません。

本学では、入学した年の11月に第1回目の就職ガイダンスを実施しています。また、就職係のスタッフによる個別面談、資料室での求人データ公開など、学生の就職活動を多角的に支援しています。



ミナール(子ども学特別研究)も設置されています。なお、卒業時には幼稚園教諭2種免許と保育士資格を同時に取得することができます。

「特色ある大学教育支援プログラム」 (特色GP)について

2007年度の文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)に、女子短期大学の取組「健康教育授業を軸とした健康支援」が選定されました。本取組の目的は、2000年度からスタートした健康教育カリキュラムを軸に、正課外の「健康支援プログラム」と「課外活動プログラム」を充実させ、学生の体力維持・健康増進・意識の向上、生涯スポーツ活動を見据えた運動習慣の基礎づくりに向け、総合的な支援を行うことにあります。

ここまでの2年間、①健康教育科目「健康科学I~V」(5科目18コマ)と「体育実技I・II・III」(3科目18科目46コマ)から各々1単位選択必修することで、理論と実践の両面から知識の習得と理解を培い、教育環境や教材等の充実、指導方法のさらなる改善を通して一層の教育効果をもたらしています。また、②健康支援プ

ログラムは、測定機器・運動器具の導入によって自ら運動できる環境を整えるとともに、毎年実施の「新体力テスト」集計・分析ソフトを開発し、診断測定データの管理、学生の自己管理に必要な情報提供や的確なアドバイスを行うことができるように、健康サポート体制を整えることができました。さらに、③課外活動プログラムは、春・秋のプレイデイ(学生・教職員がともに楽しむスポーツ大会)や各種セミナーを企画し、実施することによって、体力向上・健康増進を促し、意識の改革・改善をもたらしています。

3年目で最後となる今年も、健康で、体力・気力のある女子教養教育の充実と、生涯にわたって、健康に常に留意し、運動習慣を通じて体力を維持するための基礎作りを支援していく所存です。

